



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075-432-3261

2013年10月①発行

定例市会 代表質問しました。

◆敬老乗車証の見直しは、やめるべき！

今の制度（所得に応じて、3000円～1万5千円の負担で、年間通じて自由に乗れる）から、一乗車毎に100円程度の負担に変えようとしてしています。高齢者の皆さんが、宝物のように大切に利用されている敬老乗車証は敬老の精神で、高齢者の社会参加を応援するものです。

→藤田副市長：持続可能な制度とするため、応益負担と、低所得者対策、社会参加対策で、より多くの高齢者の新たな利用になる。

◆介護保険から要支援者の給付をはずすのは、やめるように今の時期にこそ、国に求めよ！

→藤田副市長：国の社会保障審議会で、介護予防給付と、見守りや配食などの地域支援事業を一体的に提供することが望ましいとして、地域支援事業への移行が検討されている。国の審議会の動向を注視する。

◆子ども子育て新制度について

・障害のある子どもの入所は保障されるのか？市の責任で、耐震化は実施する構えはあるか？
→門川市長：障害など支援の必要な子どもや保護者の就労実態をふまえ、確実に利用できるように利用調整の権限を発揮する。耐震化は計画に基づいてすすめる。

◆西賀茂・柘野地域のバス運行に向けて、第一歩！

・自治連合会や「柘野・西賀茂北部の交通問題を考える会」の長年の要望に対して、地元自治連や町内会長さん、京産大の先生や区役所が委員となり、「柘野地域における公共交通利用促進会議」が発足され協議が始まった。幅広く市民参加で、進めるよう求めました。
→藤田副市長：バス運行は地元の長年にわたる切実な願い。促進会議では公開の下、参加者によるワークショップ形式の議論でルート案や利用促進について話し合われた。市バス路線新設に向け、地域主体のモビリティマネジメントを支援する。

台風18号 被災者支援をもっときめ細かく！！

今回の台風18号は、京都市内各地で大変な被害ができました。補正予算で、住宅再建助成も支給されることになりましたが、床下浸水やエアコンの室外機や風呂釜などの備品類は対象外です。自然災害は自らの努力では防ぎようがなかったわけですから、もっと補助支援の枠を広げる必要があります。共産党市会議員団として、市長に3次に渡って、要望を行いました。



下鳥羽（伏見区）の家屋。鴨川の氾濫で、いっきに水力で畳がめくれあがったそうです。土間の白壁も大きな穴が開いていました。もし、この場所に立っていたら、裏まで、流され、ブッロクにぶちあたっていたところだったそうです。

つぶやき：「絶対にえらいことになる！」 消費税増税 来年4月から5%→8%に首相が表明

3%から5%になった時どれだけたくさんのお店がシャッターを下ろしたことでしょう・・・。今回も地域でお聞きする声は、「消費税増税されたら、店をやめる」・・・。「息子はいるけど、継いでくれとも継ぐとも言わない」と言われた店主の声が忘れられません。安倍首相は、増税の方針と共に、低所得者対策や景気対策を取るとしていますが、低所得者を痛めつけ、景気を悪化させるのが、消費税増税なのですから、増税をしないことが一番の対策だと思いませんか・・・？何としても、ストップをかけたいです！



雲ヶ畑の区民運動会に、浜田府会議員と参加しました。去年から、小中学校が休校に入ったため、学校と合同開催ではなく、少しさみしい感じはありましたが、お天気にも恵まれ、すがすがしい運動会でした。写真は、みずもしたたいる：というタイトルで針のついた紙のヘアーバンドをかぶり。水の入った風船を割り、その後、粉の中にある飴を口で採って、走ってゴールします。風船を割る時に顔にバシヤーンと水がかかりますので、そのあとのあめ玉くわえは顔が粉で真っ白になります。まるで、ばっゲームです。面白い競技でした！
大玉転がしの競技には浜田府会議員と参加させていただきました。ハッスルしました。とても楽しかったです。小さな地域の運動会は、小さいなりの工夫がされており、地域の交流の場となっていると思います。
議員になって毎年伺っていますので、当初、小学生で可愛かった女の子たちが、成人して、雲ヶ畑の親元は離れていますが、運動会に帰ってきて、出場している姿も出ています。うれしかったので、年齢を取らなから、感じ

住民の交流の場・区民運動会

アンテナ

